

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<35週> 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去5年間の同時期と比較して未だかなり多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4-5

<腸管出血性大腸菌感染症> 2003年の報告数は、過去4年間と比べて比較的少なく推移してきたが、第34週には大幅に増加した  
<E型肝炎> 第28週に引き続き、第33週でも国内感染事例の報告があった



病原体情報  
P.6-7

患者から分離・検出された病原体報告 - ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 / 咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス / 手足口病患者から分離されているウイルス / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス



速報  
P.8-9

無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス6型/30型の分離 - 堺市 / エンテロウイルス71型およびエコーウイルス30型の分離 - 広島市



海外感染症情報  
P.10-11

ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ / ペルーのSan Juan del Oroでの三日熱マラリア流行 / 英国でのSalmonella Bareillyの流行 - 更新



感染症の話  
P.12-14

<流行性耳下腺炎>  
2~3週間の潜伏期を経て、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするウイルス感染症であり、通常1~2週間で軽快する



読者のコーナー  
P.15



グラフ総覧(35週)  
P.16-22



35週のデータ  
P.23-31



# 発生動向総覧

第35週コメント 9月4日集計分

## 全数報告の感染症

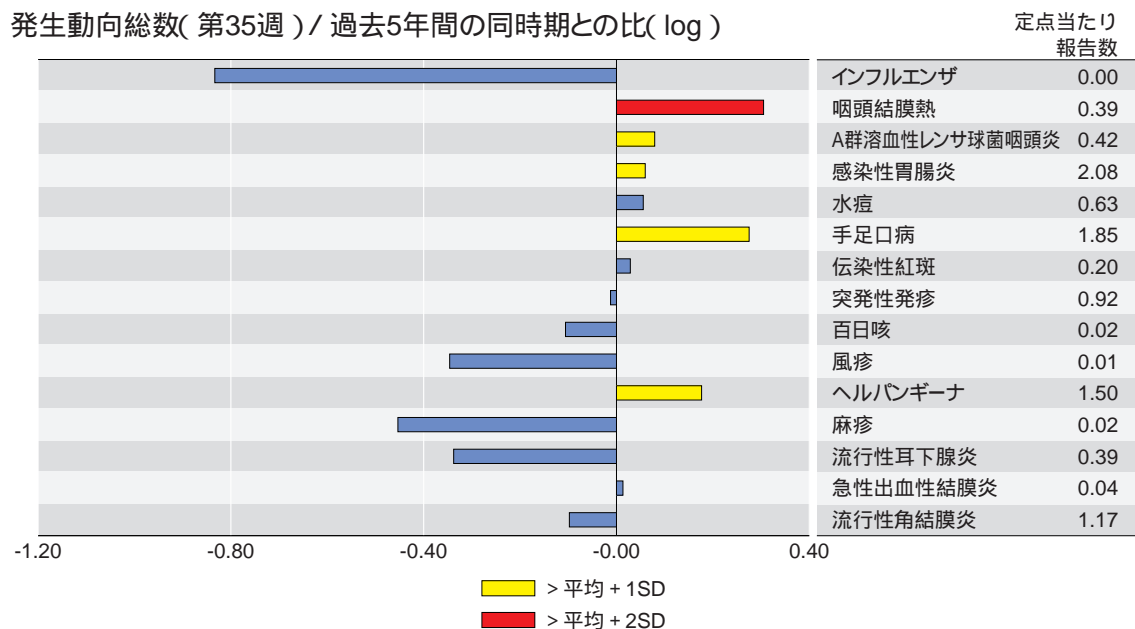
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 1例( 推定感染地域: 国内1例 )  
細菌性赤痢 8例( 推定感染地域: 国内1例、エジプト3例\*、インド1例、フィリピン2例、タヒチ1例 )  
\*疑似症1例を含む
- 3類感染症: 腸チフス 1例( 推定感染地域: 不明 )  
腸管出血性大腸菌感染症 156例( うち有症者106例 )  
報告の多い都道府県: 福岡県31例、石川県25例、大阪府15例  
血清型・毒素型: O157 VT2( 50例 )、O157 VT1・VT2( 48例 )、O26 VT1( 29例 )、その他( 29例 )  
年齢: 10歳未満( 83例 )、10代( 18例 )、20代( 16例 )、30代( 18例 )、40代( 7例 )、50代( 10例 )、60代( 1例 )、70歳以上( 3例 )
- 4類感染症: アメーバ赤痢 8例( 推定感染地域: 国内3例、タイ1例、中国/台湾/シンガポール1例、不明3例 )  
急性ウイルス性肝炎 3例 B型2例( 推定感染経路: とともに性的接触 )、C型1例( 推定感染経路: 不明 )  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例( 68歳、創部感染 )  
後天性免疫不全症候群 8例( AIDS 2例、無症候3例、その他3例 ) 男性/女性: 7例/1例  
推定感染経路: 性的接触8例( 異性間3例、同性間5例 )  
推定感染地域: 国内6例、英国1例、不明1例  
日本紅斑熱 5例( 島根県1例、愛媛県1例\*\*、高知県1例、鹿児島県2例 )  
\*\*愛媛県では19年ぶりの発生  
梅毒 3例( 早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、無症候1例 )  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例( 菌検出検体: 胆汁、遺伝子型: VanC )  
レジオネラ症 1例( 72歳 )

## 定点把握の対象となる4類感染症( 週報対象のもの )

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。

定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数( 第35週 ) / 過去5年間の同時期との比( log )

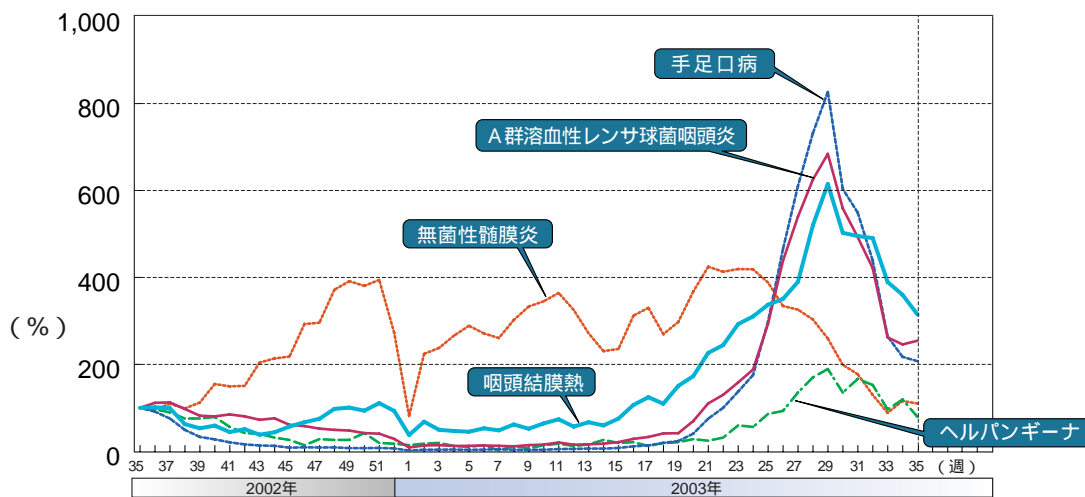


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

**小児科定点報告疾患**：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去10年間の当該週と比較して第16週以降最高の値となっている。過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 )と比較しても未だかなり多く、都道府県別では長野県( 1.5 )、滋賀県( 1.5 )、高知県( 1.2 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週から10週間連続して減少した後、前週は増加したが、今週は再び微減した。過去10年間の当該週と比較して第27週以降最高の値で推移しており、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では鳥取県( 1.2 )、富山県( 1.0 )、山形県( 0.9 )、山口県( 0.9 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後5週間連続して減少し続けたが、今週は再び微増した。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では青森県( 5.6 )、山口県( 4.6 )、岩手県( 4.5 )、新潟県( 4.5 )が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第29週をピークとし、その後は減少し続けているが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では新潟県( 4.6 )、宮崎県( 4.4 )、愛媛県( 4.3 )が多い。

**基幹定点報告疾患**：無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は減少して0.10で、都道府県別では奈良県( 0.8 )、石川県( 0.6 )が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微増して0.23で、本年は過去4年間の報告数に比し高く推移してきたが、第31週以降は昨年、一昨年と大差のない値となっている。都道府県別では大阪府( 1.1 )、山形県( 0.7 )、茨城県( 0.7 )が多い。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き( 第35週 )



2002年第35週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、過去1年間の増減を表している。



# 注目すべき感染症

## 腸管出血性大腸菌感染症

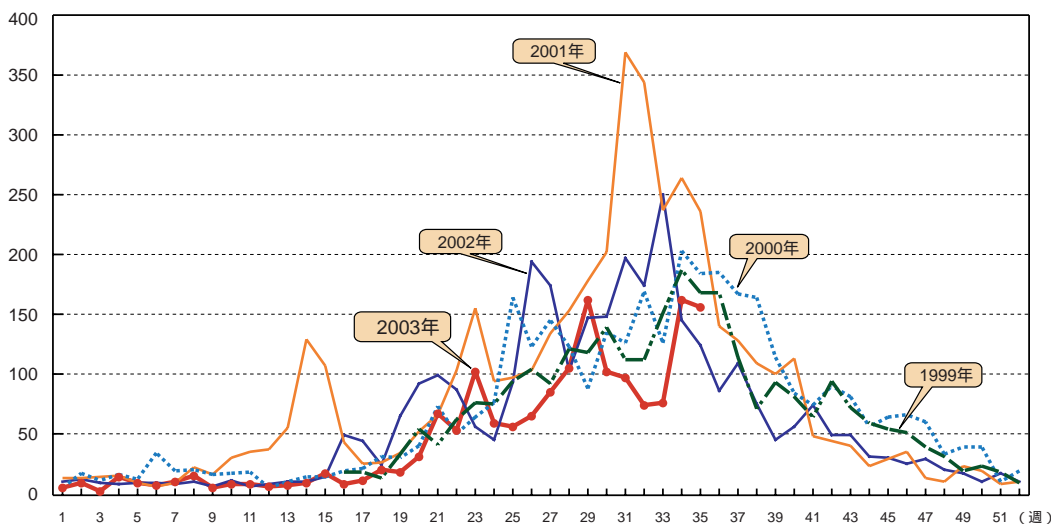
2003年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は、過去4年間と比べて比較的少なく推移してきた(図)。特に第31～33週は通常報告数が多い時期であるが、本年の報告数は各週ともに100例に満たず、少なかった。しかしながら、第34週には現在までのデータで162例と報告数は大幅に増加した。

第35週の報告数は今のところ156例で( 昨年同時期は121例 )、性別では男83例、女73例であり、うち有症者は106例で、報告例全体の68%であった。都道府県別では多い順に福岡県31例、石川県25例、大阪府15例、兵庫県9例などであった。5歳毎の年齢階級別にみると( 0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い )、1～4歳56例、5～9歳25例、10～14歳14例と、1～4歳の報告数が多かった。これは保育所、幼稚園関連の症例が多かったためと思われる。

血清型についてはO157が110例、O26が29例であった。血清型とペロ毒素の型の組み合わせでは多い順にO157 VT2が50例、O157 VT1・VT2が48例、O26 VT1が29例などとなっている。2003年の第35週までの累積報告数は1,660例( 昨年同時期は2,404例 )となっており、昨年よりは少ないものの、集団発生の報告は続いていることから、依然として注意を要する。

今年に入って、死亡例( 届け出時点 )は2例が報告されているが、第35週では今のところ重症例の報告はない。

図 . 腸管出血性大腸菌感染症の週別報告数 ( 1999年4月～現在まで )



## E型肝炎

第28週に引き続き、第33週でもE型肝炎の国内感染事例の報告があった。

E型肝炎は経口感染し、約6週間の潜伏期を経て、全身倦怠感、発熱、黄疸の症状を引きおこす疾患である。我が国のE型肝炎については、主に開発途上国などで水系感染などにより、渡航者が罹患すると考えられてきた。実際、感染症法に基づく報告の対象となった1999年4月からの報告についてみると、主にインド、ネパール、中国などのアジアの国々で罹患した輸入例がほとんどであった。しかし最近では、国内での感染例の報告が増加している( 図 )。これは、国内での一般人の抗体保有状況に関する知見や動物での感染状況に関するデータが得られてきたことや、今年に入って、野生の鹿肉などの生食により感染した事例が報告されたこと、豚レバーの一部からウイルスの遺伝子が検出されたことなどから、国内での感染が注目されてきていることと関連していると思われる。厚生労働省も、豚のレバーや野生の鹿肉などは十分加熱してから食べるように注意を促している。

詳しい情報については以下のウェブサイトを参照されたい。

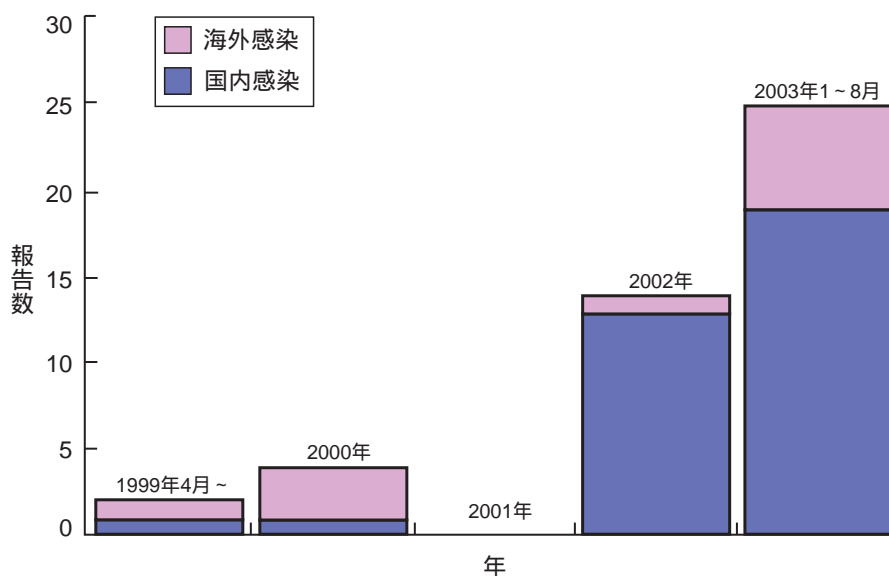
厚生労働省 食肉を介するE型肝炎ウイルス感染事例について( E型肝炎Q & A )

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>

国立感染症研究所

<http://idsc.nih.gov/jp/others/topics/hepatE/hepatE.html>

図 . 急性E型肝炎の感染地別発生状況





## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/index-j.html> からの引用です。

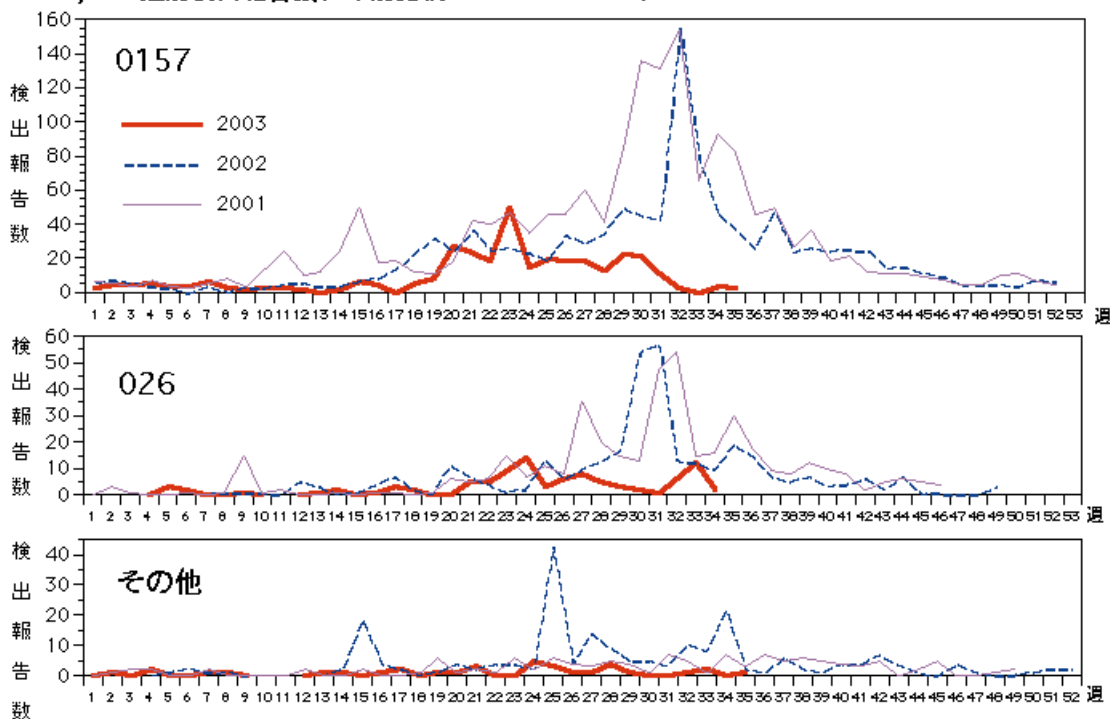
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2003年9月5日現在報告分)

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2003年

検出総数は450件で、うちO157が320件、O26が96件、その他の血清型が34件報告されている。O157は、第20週以降岐阜県の集団発生(学生寮(VT2)、保育所(VT1&2))、兵庫県での集団発生(VT1&2)からの検出報告を中心に増加し、第30週まで毎週20件前後の報告が続いている。O26は、第23、24週に秋田県の小学校における集団発生(VT1)で検出報告が増加した。最近では、O157が第34週に岩手県3件(すべてVT1&2)、第35週に岩手県2件(いずれもVT1&2)、O26が第33週に岩手県10件(すべてVT1)、富山県2件(いずれもVT1)、第34週に岩手県2件(いずれもVT1)、O103が第35週に岩手県1件(VT1)で、いずれも散発または家族内発生事例からの検出報告である。

O157, O26週別検出報告数、年別比較 2001～2003年 (病原微生物検出情報: 2003年9月5日現在報告数)



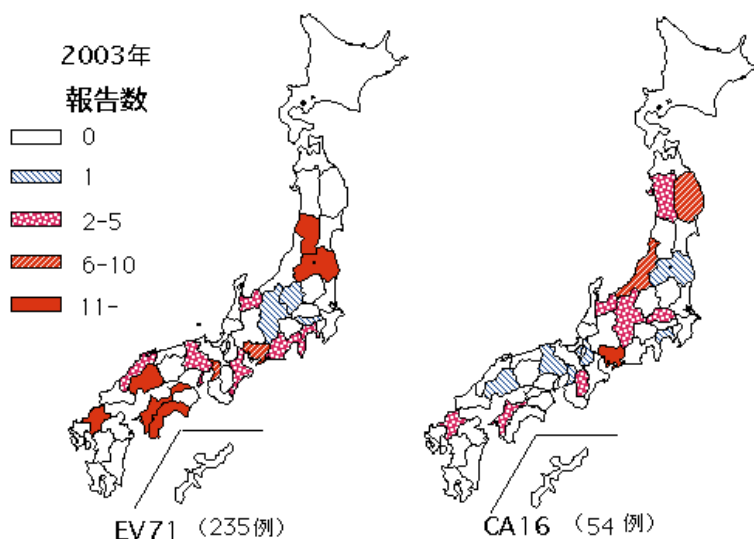
### 咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス 2003年

アデノウイルス3型(Ad3)が74件で最も多く、次いでAd2が34件、Ad1が16件、Ad5が10件報告されている。Ad7は9件で、以下Ad4が3件、Ad6が1件、Ad37が1件報告されている。

### 手足口病患者から分離されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型 (EV71) が235件で山形県43、愛媛県36、広島県32( 本号速報記事参照 )、福島県29、香川県20など18都府県から報告されている。A群コクサッキーウイルス (CA) 16型は54件で、うち愛知県からの報告が14件と多く、次いで新潟県9、岩手県6など16府県から報告されている。その他CA10が5件( 奈良県2、秋田県1、島根県1、愛媛県1 )、CA2が4件( 三重県3、群馬県1 )、CA6が3件( 滋賀県、京都府、奈良県各1 )、CB2が2件( 静岡県、広島県各1 )、エコーウイルス (E) 9型が2件( 山形県、広島県各1 )、CA4が1件( 滋賀県 )、CA5が1件( 島根県 )、CB5が1件( 福岡県 ) 報告されている。

都道府県別手足口病患者からのEV71&CA16分離報告状況, 2003年  
(病原微生物検出情報: 2003年9月5日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

**IASR**

Infectious Agents Surveillance Report

### 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2003年

エンテロウイルス71型 (EV71) が39件( 広島県11( 本号速報記事参照 )、神奈川県9、愛知県5、大阪府5など )、エコーウイルス (E) が311件( 30型155、6型84、9型40、18型23、7型5、1型1、5型1、13型1、16型1 ) 報告されている。E30は近畿地方を中心に大阪府50( 本号速報記事参照 )、奈良県20、高知県17など12道府県から報告されている。E6は大阪府34( 本号速報記事参照 ) と新潟県17を中心に13府県から報告されている。E9は香川県39、宮崎県1、E18は新潟県6、愛知県6、千葉県4、東京都4、大阪府3から報告されている。その他、B群コクサッキーウイルスが45件( 1型19、2型12、5型9、4型3、3型2 )、ムンプスウイルスが15件、A群コクサッキーウイルスが7件( 9型3、2型1、4型1、6型1、16型1 ) 報告されている。



## 無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス6型/30型の分離 - 堺市

堺市感染症発生動向調査の市内3定点病院より、2003年6月1日～8月20日現在までに無菌性髄膜炎62名( 男43名、女19名 )の患者検体が搬入され、5名からエコーウイルス6型( E6 )、30名からエコーウイルス30型( E30 )、1名からエコーウイルス18型( E18 )、2名からエンテロウイルス71型( EV71 )、1名からムンプスウイルスが分離同定された。

ウイルス分離にはRD細胞、LLC-MK2細胞、Vero細胞およびFL細胞を用いたが、RD細胞およびLLC-MK2細胞のみで分離された。ウイルス同定は(株)デンカ生研のエンテロウイルス中和用混合血清を使用した。

患児の主症状は発熱( 39.6～38 )、嘔気、嘔吐、頭痛、胃腸炎症状などである。

年齢については、E30では6～7歳にピークがみられたが、E6にはみられなかった。男女比ではE30が2.5:1、E6は3:2であった。E18は3歳男児、EV71は5歳と3カ月の男児それぞれ1名、ムンプスウイルスは2歳女児からであった。

採取された材料からの分離陽性例は、糞便( 15検体 )、髄液( 31検体 )、咽頭ぬぐい液( 19検体 )、鼻汁( 1検体 )、尿( 1検体 )であり、2検体以上からの分離例は22名であった。1例の尿からE6が分離されたが、この患者は1カ月女児で、粘液便も認められ、この便検体からも同じウイルスが分離された。

堺市衛生研究所

内野清子 岩上泰雄 吉田永祥 三好龍也 菌 輝久 前田章子 田中智之

堺病院・小児科

橋爪孝雄 岡田伸太郎

ベルランド総合病院・小児科

松本小百合

( IASR2003年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## エンテロウイルス71型およびエコーウイルス30型の分離 - 広島市

広島市感染症発生動向調査事業で、2003年4～7月の期間に検体が採取された302人中12人からエンテロウイルス71型( EV71 )が、10人からエコーウイルス30型( E30 )が分離された。EV71の分離は5月25日採取の手足口病患者からが最初で、その後6月に6人、7月に5人から分離された。臨床診断名では手足口病8人( そのうち3人は無菌性髄膜炎も併記 )、肺炎/気管支炎2人、不明熱2人であった。年齢は0歳5人、2歳、4～7歳、9歳、13歳が各1人ずつであった。男女比はほぼ1:1であった。

2003年の手足口病は第17週から増加を始め、第27週のピークにはこれまでで最も多い定点当たり報告数33.67人となり、第32週には2.79人まで急速に減少する一峰性の流行であった。

E30の分離は、6月11日採取の手足口病および無菌性髄膜炎と診断された患者からが最初で、6月に6人、7月に4人から分離された。E30分離陽性者の臨床診断名はすべて無菌性髄膜炎で、手足口病またはヘルパンギーナと併記された患者が各1人ずつであった。年齢は0歳1人、5歳と6歳が各3人、7歳、8歳および9歳が各1人ずつであった。男女比は7:3で男性に多かった。

なお、手足口病および無菌性髄膜炎と診断された患者1人から、EV71とE30が同時に分離された。

広島市衛生研究所

池田義文 藤井彰人 野田 衛 国井悦子 平崎和孝 荻野武雄

( IASR2003年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照 )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### ウエストナイルウイルスによるヒト患者数 - 米国、カナダ

CDC 9月11日、ヘルスカナダ 9月10日

州	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	21	3
アリゾナ	1	
アーカンソー	5	
コロラド	1,214	19
コネチカット	1	
フロリダ	22	
ジョージア	7	1
イリノイ	8	
インディアナ	6	
アイオワ	24	2
カンザス	19	1
ケンタッキー	4	
ルイジアナ	52	1
メリーランド	8	
マサチューセッツ	1	
ミネソタ	31	
ミシシッピ	43	1
ミズーリ	10	1
モンタナ	116	1
ネブラスカ	436	10
ニューハンプシャー	1	
ニュージャージー	3	
ニューメキシコ	102	4
ニューヨーク	15	2
ノースカロライナ	11	
ノースダコタ	91	
オハイオ	21	1
オクラホマ	25	
ペンシルバニア	38	
ロードアイランド	1	
サウスカロライナ	1	
サウスダコタ	521	7
テネシー	6	
テキサス	190	6
バージニア	4	
ウィスコンシン	5	
ワイオミング	243	4
<b>合 計</b>	<b>3,307</b>	<b>64</b>

3,181例の解析にて、60%はウエストナイル熱、30%はウエストナイル髄膜炎 / 脳炎、10%は不明。

( 米国CDCホームページ <http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/index.htm> より )

州	陽性疑い患者数 *	陽性確定患者数	死亡者数
ノバスコシア	0	1	0
ケベック	1	0	0
オンタリオ	20	1	0
マニトバ	8	2	0
サスカチュワン	121	10	0
アルバータ	98	7	0
ブリティッシュコロンビア	2	0	0
<b>合 計</b>	<b>250</b>	<b>21</b>	<b>0</b>

\* 陽性の確定にはさらに検査を必要とする。

( ヘルスカナダホームページ <http://www.hc-sc.gc.ca/pphb-dgspsp/wnv-vwn/> より )

### ペルーのSan Juan del Oroでの三日熱マラリア流行

PAHO EID 2003年9月4日

ペルー保健省によると、2003年6月以来、Sandia, Puno州のSan Juan del Oro地方で三日熱マラリアの患者数が増加している。流行は2003年6月20日に始まり、ここ数週間で患者数は減少しているが、現在まで流行が続いてきた。8月23日までに、合計で216名の三日熱マラリア確定患者が報告された。流行はへんぴな場所で起こり、主に15～44歳の男性農業従事者が感染した。6つの地域が影響を受けたが、それらは、Azaya, Misky Mayo, Pampa Grande, Pauj Playa, San Ignacio-Curva Alegria, Uramba, Victoria地区であった。最も流行が激しかったのはLa Pampa Grande地区で、罹患率は人口1,000人当たり511名であった。

### 英国でのSalmonella Bareillyの流行 - 更新

Eurosurveillance weekly 2003年9月4日

2003年8月1日以来、Laboratory of Enteric Pathogens( LEP )のEngland and Wales 'Health Protection Agencyによって確認されたSalmonella Bareilly感染患者数は、イングランドとウェールズにおいて108名に増加した。スコットランドでも23名が発生している。流行曲線は、感染源が依然として存在していることを示しており、最近の患者の発症は8月23日であった。8月30日に全国的な症例対照調査研究が開始された。また、イングランドとウェールズの医学微生物学者たちは、Group C1 Salmonella( O6,7:y:1,5 )の確認と型分類を速やかに行うよう依頼されている。



## 感染症の話

### 流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)

流行性耳下腺炎(mumps)は2～3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て発症し、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹を特徴とするウイルス感染症であり、通常1～2週間で軽快する。最も多い合併症は髄膜炎であり、その他髄膜脳炎、睾丸炎、卵巣炎、難聴、膵炎などを認める場合がある。

#### 疫学

流行性耳下腺炎は、5世紀にヒポクラテスがThasus島で、耳の近くが両側あるいは片側のみ腫脹する病気が流行したのを記載したのが最初であり、耳周辺の痛みを伴うこと、睾丸が腫脹することも記載されている<sup>1)</sup>。ムンプスという名前の由来は不明であるが、ひどい耳下腺炎を起こした患者がぼそぼそ話す(mumbling speech)ことによるのではないかと報告されている<sup>1)</sup>。

その後、1886年にHirshがこの病気は世界中に広く存在することを報告し<sup>2)</sup>、1934年にJohnsonとGoodpastureが、この疾患の原因微生物はフィルターを通過するウイルスであると報告した<sup>1)</sup>。

流行性耳下腺炎は我が国でも毎年地域的な流行がみられており、1989年の流行までは3～4年周期で増減が見られていたが、同年のMMRワクチンの導入により、1991年にはサーベイランスが始まって以来の低い流行状況となった。その後緩やかに患者報告数が増加し、1993年にMMRワクチンが中止されたこともあって、1994年以降再び3～4年周期での患者増加が見られるようになっている。感染症法施行以降の1999年4月～2000年12月の感染症発生動向調査から見ると、全国約3,000の定点医療機関から、毎週1,100～4,800人程度の報告があった。2000年末より、最近10年間の当該週に比べて定点当たり報告数がかかなり多い状態が続き、2001年の全国の定点からの患者報告総数は254,711人となり、過去10年間で最多であった。しかし、2002年には182,635人(暫定データ)となり、減少がみられた。

報告患者の年齢は4歳以下の占める割合が45～47%であり、0歳は少なく、年齢とともに増加し、4歳が最も多い。続いて5歳、3歳の順に多く、3～6歳で約60%を占めている<sup>2)</sup>。

#### 病原体

本疾患の原因であるムンプスウイルスはパラミクソウイルス科のウイルスで、表面にエンベロープをかぶったマイナスセンスの1本鎖RNAウイルスである。大きさは100～600nmで、主に6つの構造タンパクを有している。エンベロープには2つの糖タンパク(hemagglutinin-neuraminidase glycoprotein、およびfusion glycoprotein)を有し、この2つのタンパクに対する抗体が感染から宿主を防御すると言われている。

#### 臨床症状

本症の臨床経過は、基本的には軽症と考えられている。2～3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て、唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症し、通常1～2週間で軽快する。唾液腺腫脹は両側、あるいは片側の耳下腺にみられることがほとんどであるが、顎下腺、舌下腺にも起こることがあり、通常48時間以内にピークを認める。接触、あるいは飛沫感染で伝播するが、その感染力はかなり強い。ただし、感染しても症状が現れない不顕性感染もかなりみられ、30～35%とされている。鑑別を要するものとして、他のウイルス、コクサッキーウイルス、パラインフル

エンザウイルスなどによる耳下腺炎、(特発性)反復性耳下腺炎などがある。反復性耳下腺炎は耳下腺腫脹を何度も繰り返すもので、軽度の自発痛があるが発熱を伴わないことがほとんどで、1～2週間で自然に軽快する。流行性耳下腺炎に何度も罹患するという訴えがある際には、この可能性も考えるべきである。

合併症としての無菌性髄膜炎は軽症と考えられてはいるものの、症状の明らかな例の約10%に出現すると推定されており<sup>4)</sup>、Bangらはムンプス患者の62%に髄液細胞数増多がみられ、そのうち28%に中枢神経症状を伴っていたと報告している<sup>5)</sup>。思春期以降では、男性で約20～30%に睾丸炎<sup>4)</sup>、女性では約7%に卵巣炎を合併するとされている。また、20,000例に1例程度に難聴を合併すると言われており、頻度は少ないが、永続的な障害となるので重要な合併症のひとつである。その他、稀ではあるが睇炎も重篤な合併症の一つである。

### 病原診断

ウイルスを分離することが本疾患の最も直接的な診断方法であり、唾液からは症状出現の7日前から出現後9日頃まで<sup>1)</sup>、髄液中からは症状出現後5～7日くらいまで分離が可能であるが、少なくとも第5病日までに検体を採取することが望ましい。

しかしながら、ウイルス分離には時間を要するため、一般的には血清学的診断が行われる。これには種々の方法があるが、EIA法にて急性期にIgM抗体を検出するか、ペア血清でIgG抗体価の有意な上昇にて診断される。しかし、再感染時にもIgM抗体が検出されることがあり、初感染と再感染の鑑別にはIgG抗体のavidityの測定が有用と報告されている<sup>6)</sup>。また最近では、RT-PCR法にてウイルス遺伝子を検出することが可能となり、これによりワクチン株と野生株との鑑別も可能である。

### 治療・予防

流行性耳下腺炎およびその合併症の治療は基本的に対症療法であり、発熱などに対しては鎮痛解熱剤の投与を行い、髄膜炎合併例に対しては安静に努め、脱水などがみられる症例では輸液の適応となる。

効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法である。有効性については、接種後の罹患調査にて、接種者での罹患は1～3%程度であったとする報告がある。接種後の抗体価を測定した報告では、多少の違いがあるが、概ね90%前後が有効なレベルの抗体を獲得するとされている。ワクチンの副反応としては、接種後2週間前後に軽度の耳下腺腫脹と微熱がみられることが数%ある。重要なものとして無菌性髄膜炎があるが、約1,000～2,000人に一人の頻度である。また、以前にはゼラチンアレルギーのある小児には注意が必要であったが、各ワクチンメーカーの努力により、ムンプスワクチンからゼラチンは除かれるか、あるいは低アレルギー性ゼラチンが用いられるようになり、ゼラチンアレルギー児に対しても安全に接種が行われるようになってきた。

患者と接触した場合の予防策として緊急にワクチン接種を行うのは、あまり有効ではない。患者との接触当日に緊急ワクチン接種を行っても、症状の軽快は認められても発症を予防することは困難であると言われている。有効な抗ウイルス剤が開発されていない現状においては、集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが、現在取り得る最も有効な感染予防法である。

### 感染症法における取り扱い

流行性耳下腺炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約3,000の小児科定点医療機関より毎週報告がなされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を満たすもの

1. 片側ないし両側の耳下腺の腫脹と、2日以上持続
2. 他に耳下腺腫脹の原因がないこと

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

### 学校保健法での取り扱い

流行性耳下腺炎は第二種の伝染病に属する。登校基準は以下の通りである。

耳下腺の腫脹がある間はウイルスの排泄が多いので、腫脹が消失するまで出席停止とする。

### **【参考文献】**

- 1) Cherry J.D. Mumps virus. In: Textbook of pediatric infectious diseases( ed by Ralph D. Feigin, James D. Cherry, 1998; pp2075-2083, W.B. Saunders Company, USA.
- 2) 国立感染症研究所、厚生労働省健康局結核感染症課: 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 1993～2002年病原微生物検出情報(月報)ASR.24 :103-104, 2003
- 3) Hirsch A. Handbook of Historical and Geographical Pathology. Translated by Charles Creighton. London, 1886
- 4) Katz SL, Gershon AA, Hotez PJ: Mumps. Krugman & Infectious Diseases of Children, 10th ed. 1998, pp280-289 Mosby-Year Book, Inc.
- 5) Bang HO, Bang J. Involvement of the central nervous system in mumps. Bull Hyg 19: 503, 1944
- 6) Gut JP, Lablache C, Behr S, Kirn A. Symptomatic mumps virus reinfections. J Med Virol. 45:17-23, 1995

( 国立感染症研究所感染症情報センター 多屋馨子 )



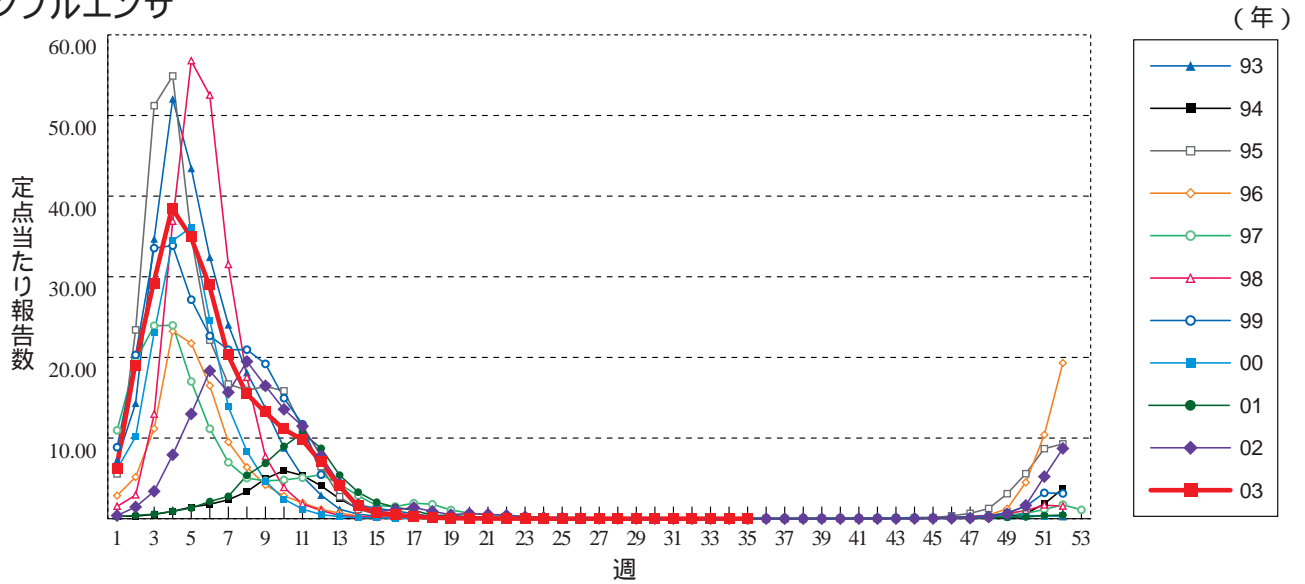
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

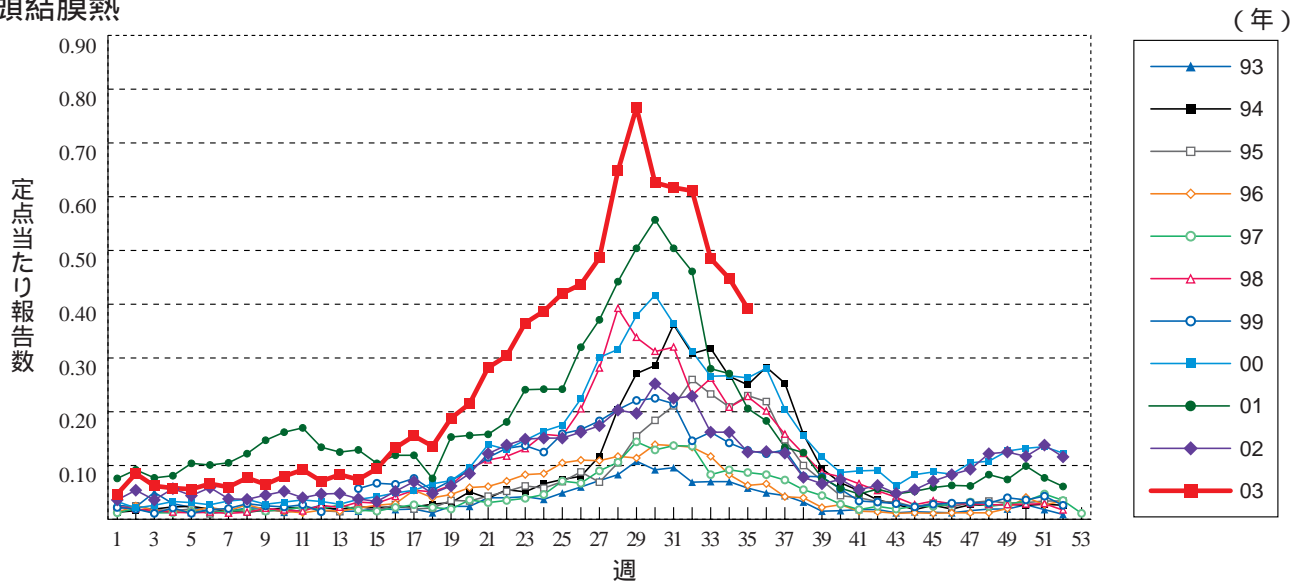
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧( 35週 )**

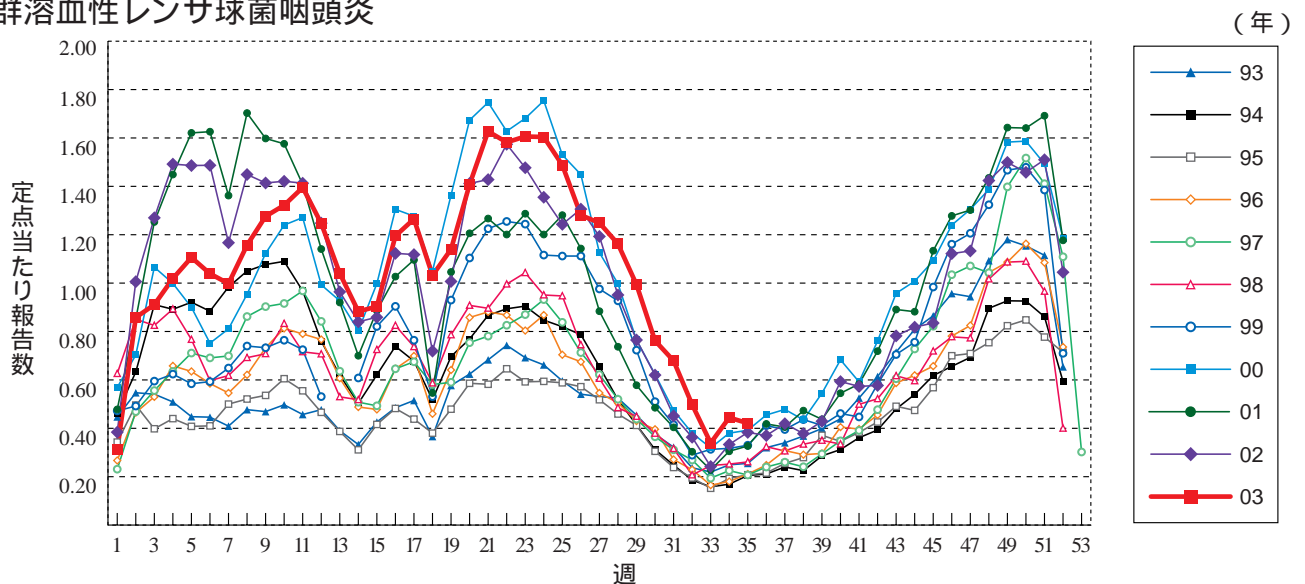
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

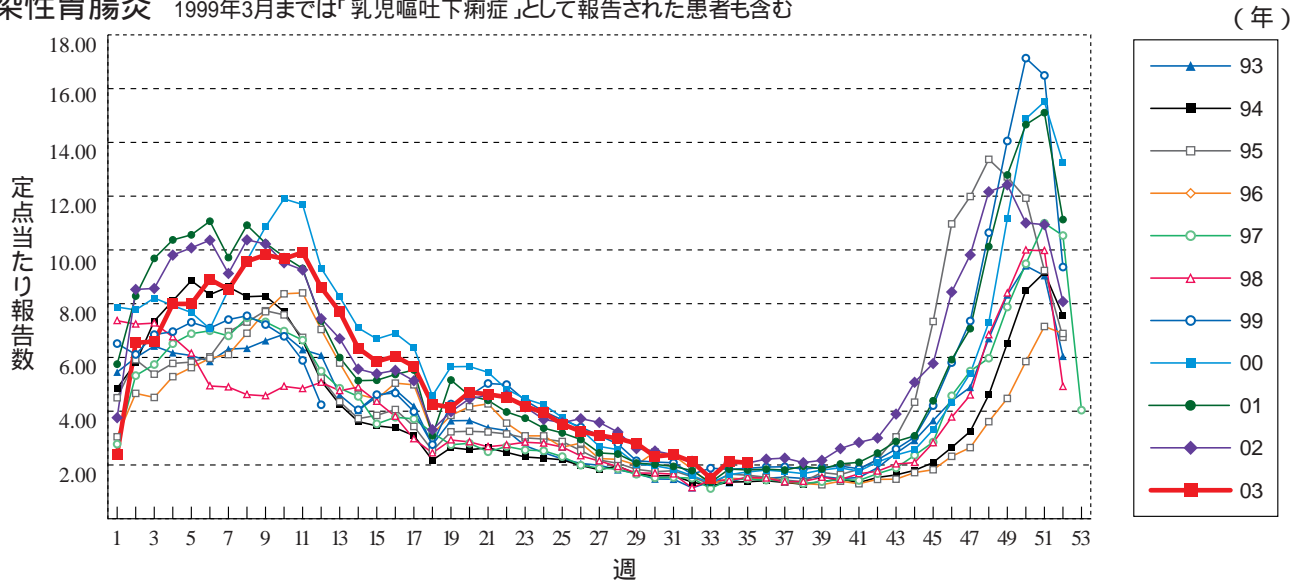


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

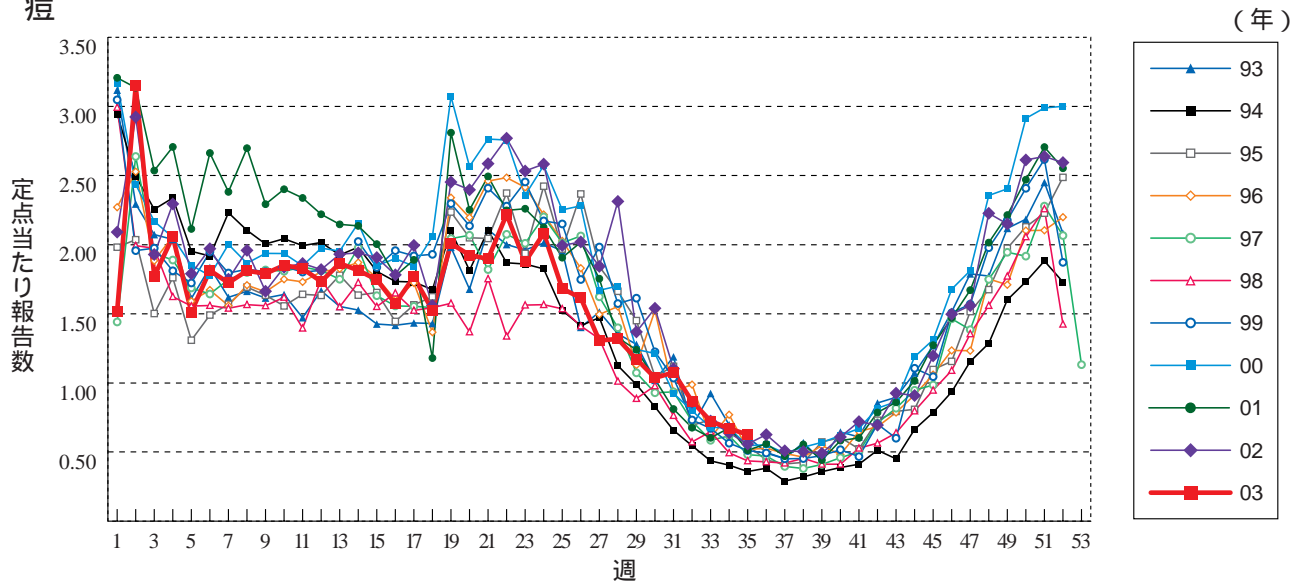




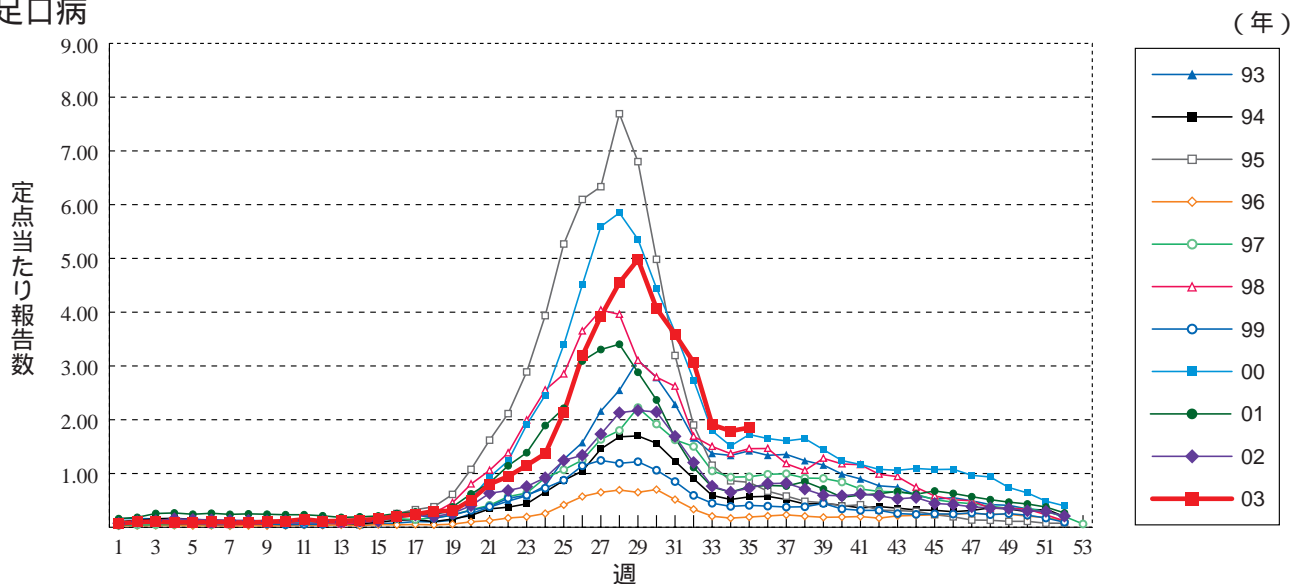
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



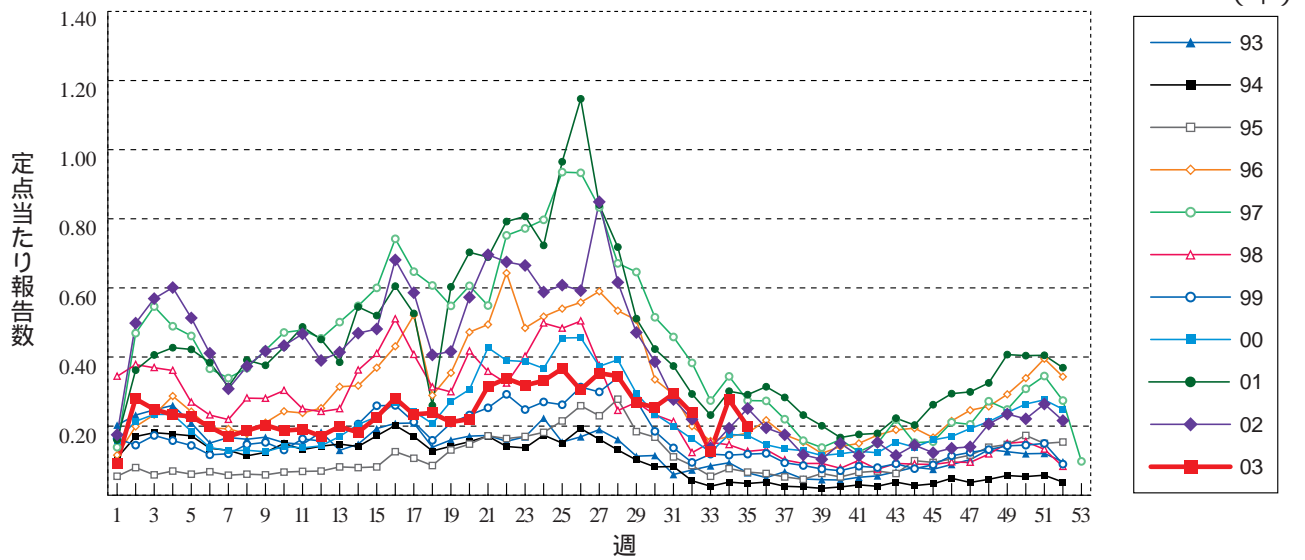
**水痘**



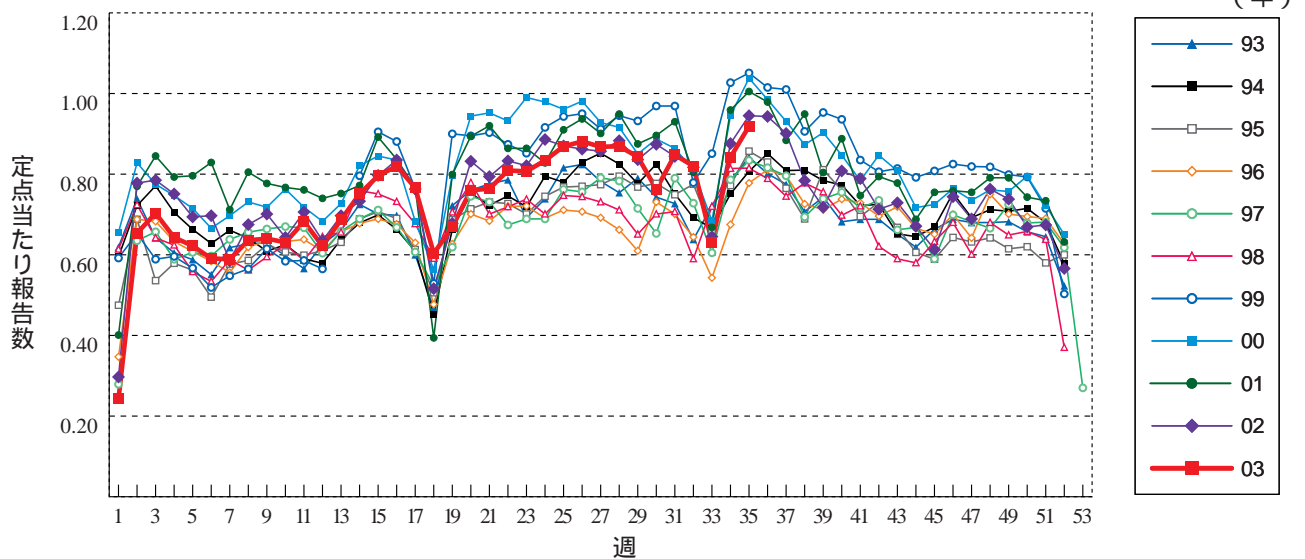
**手足口病**



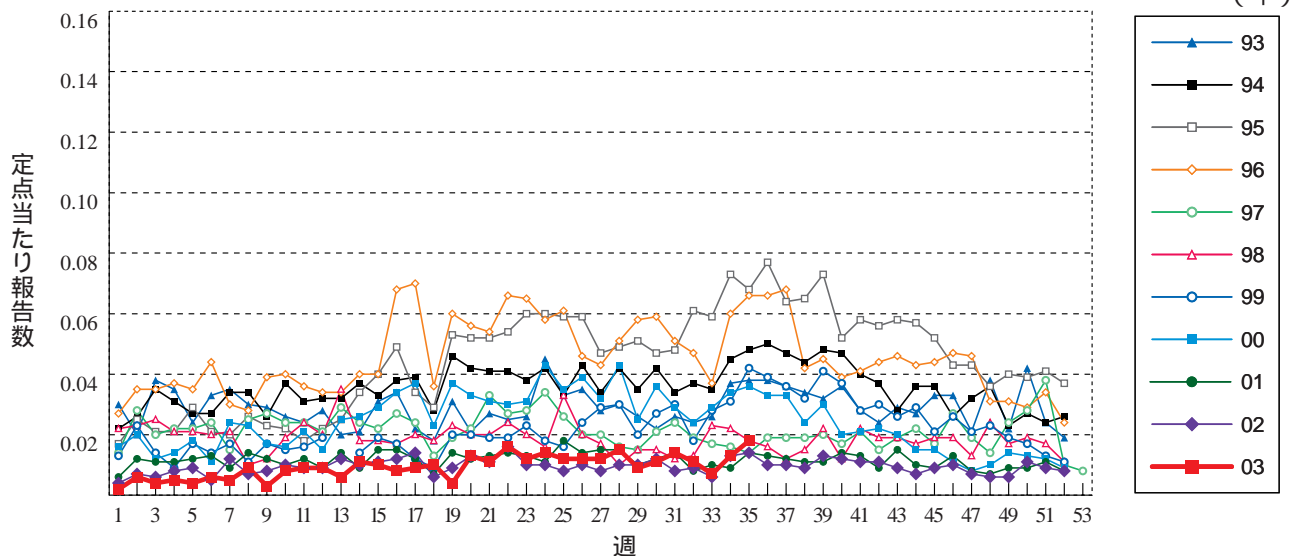
伝染性紅斑



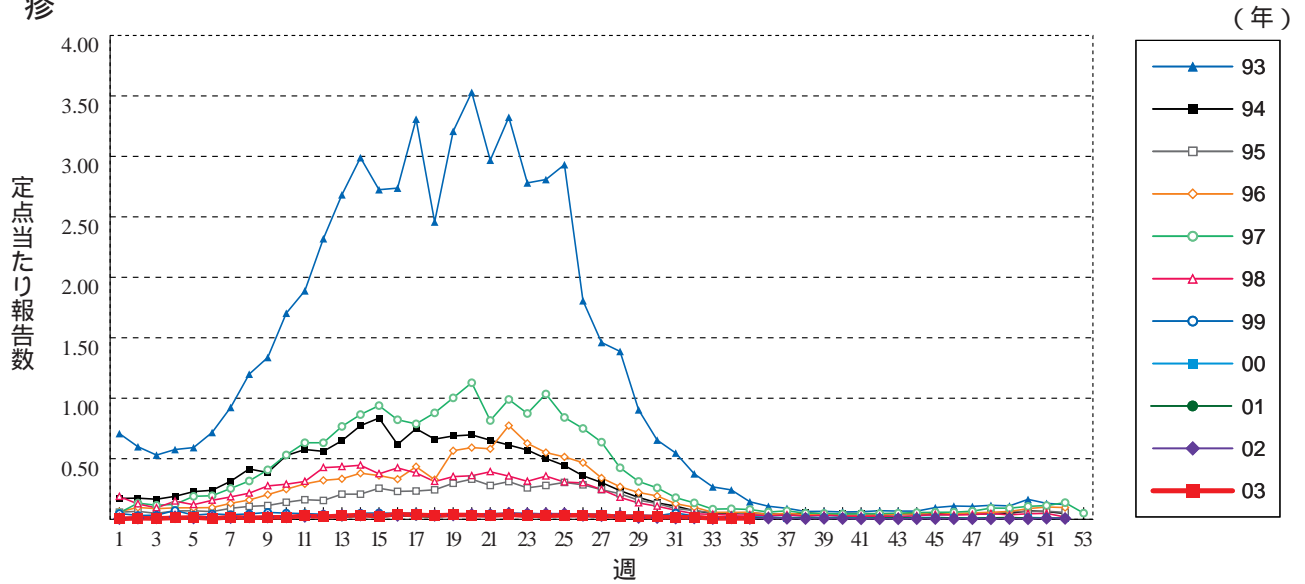
突発性発疹



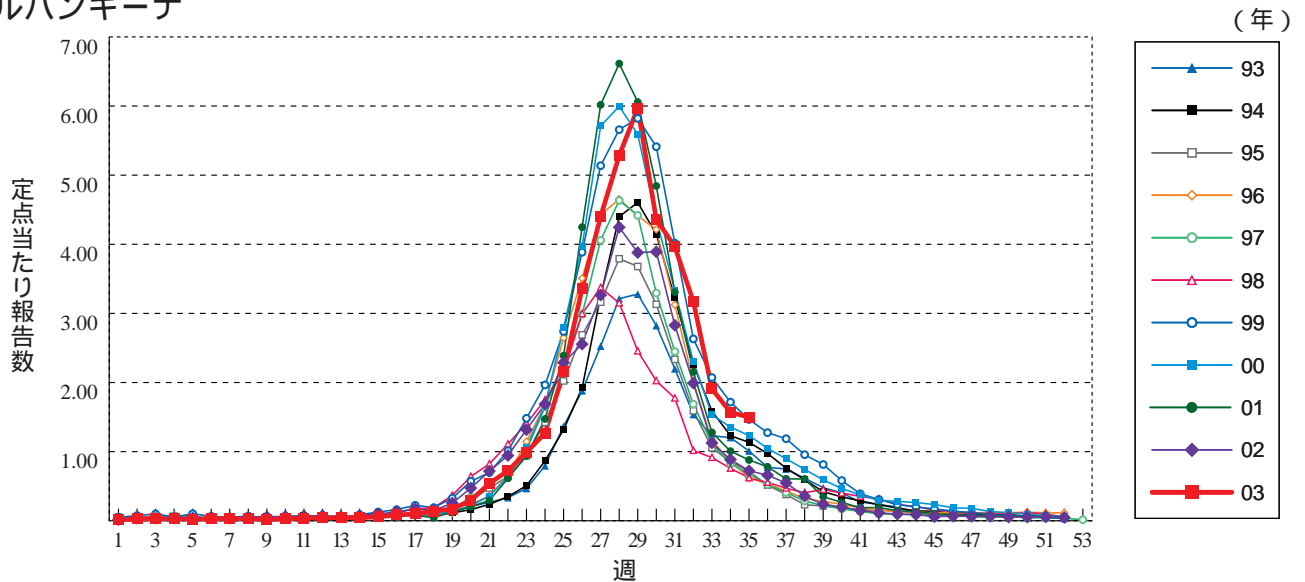
百日咳



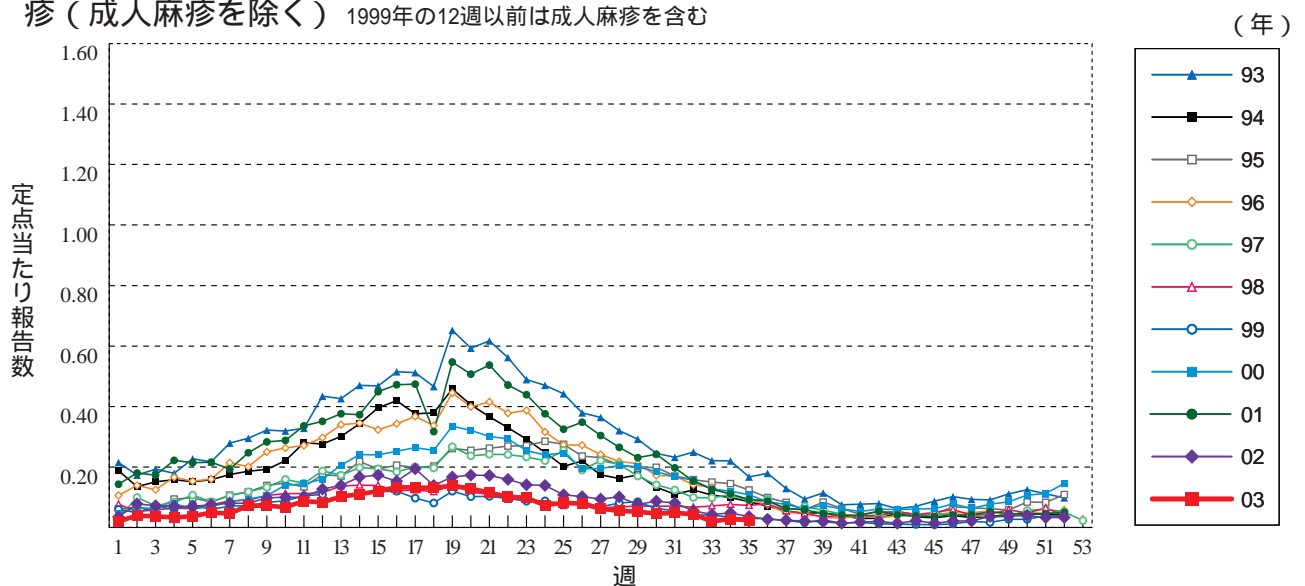
風 疹



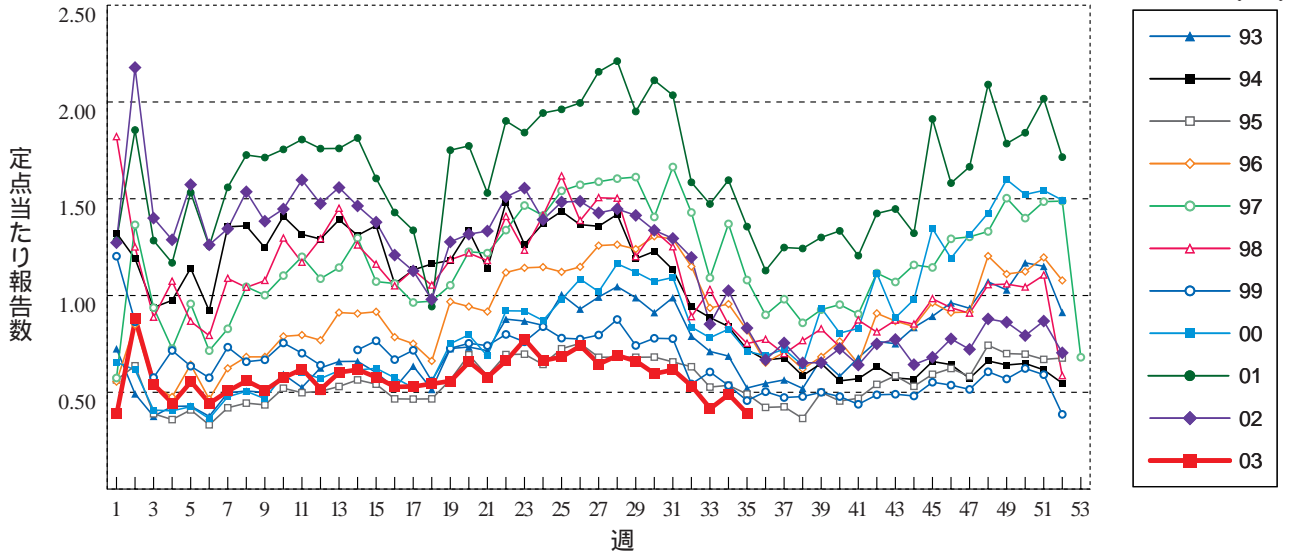
ヘルパンギーナ



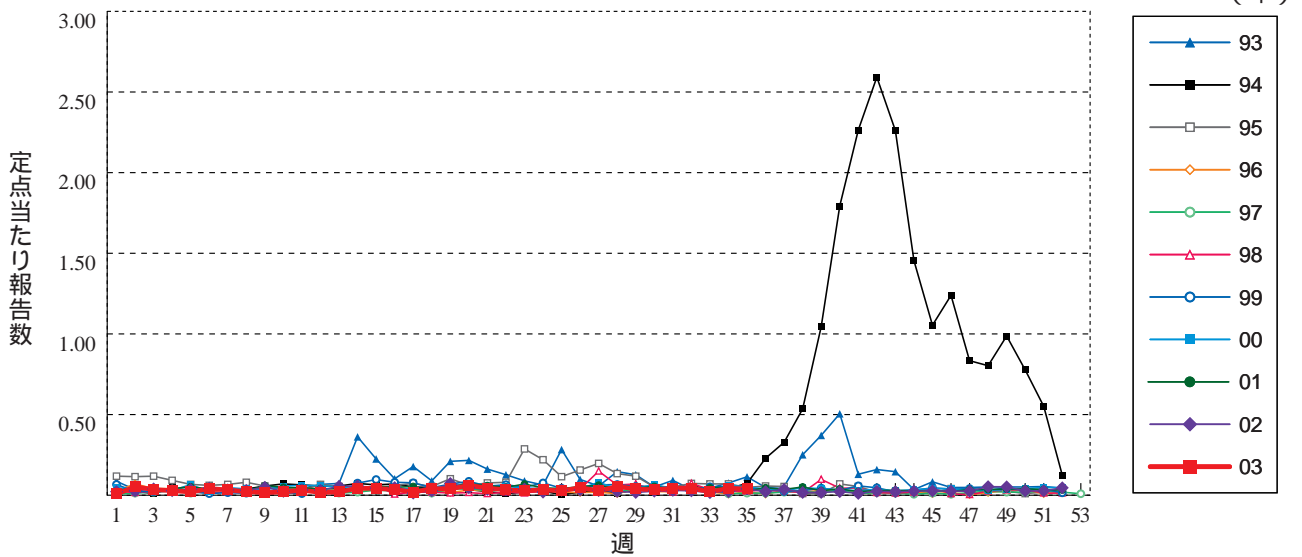
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



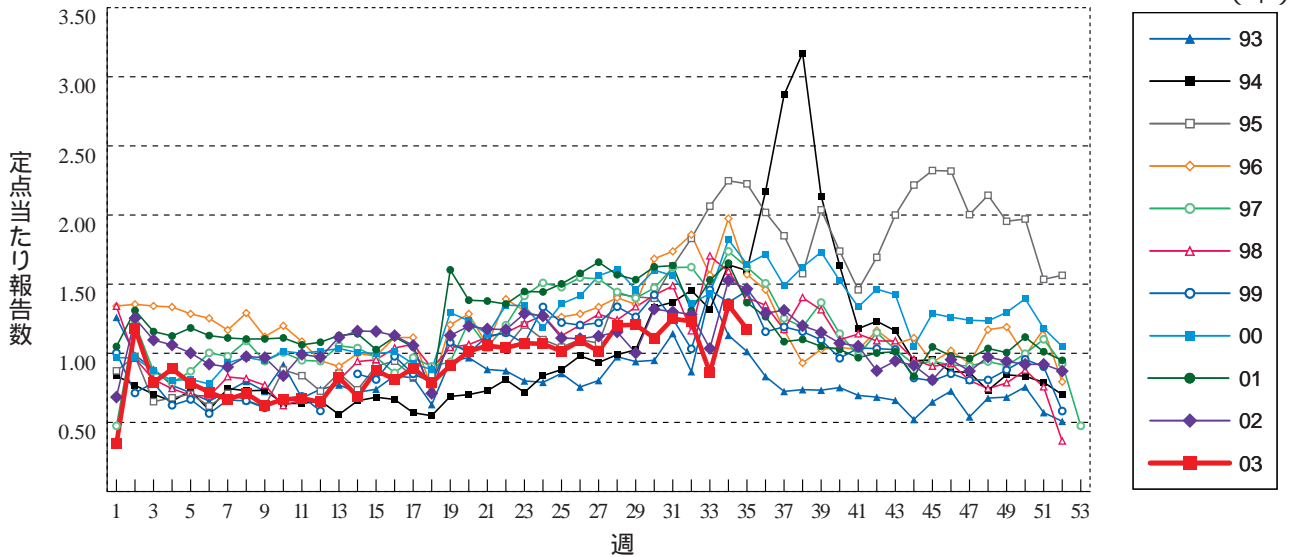
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

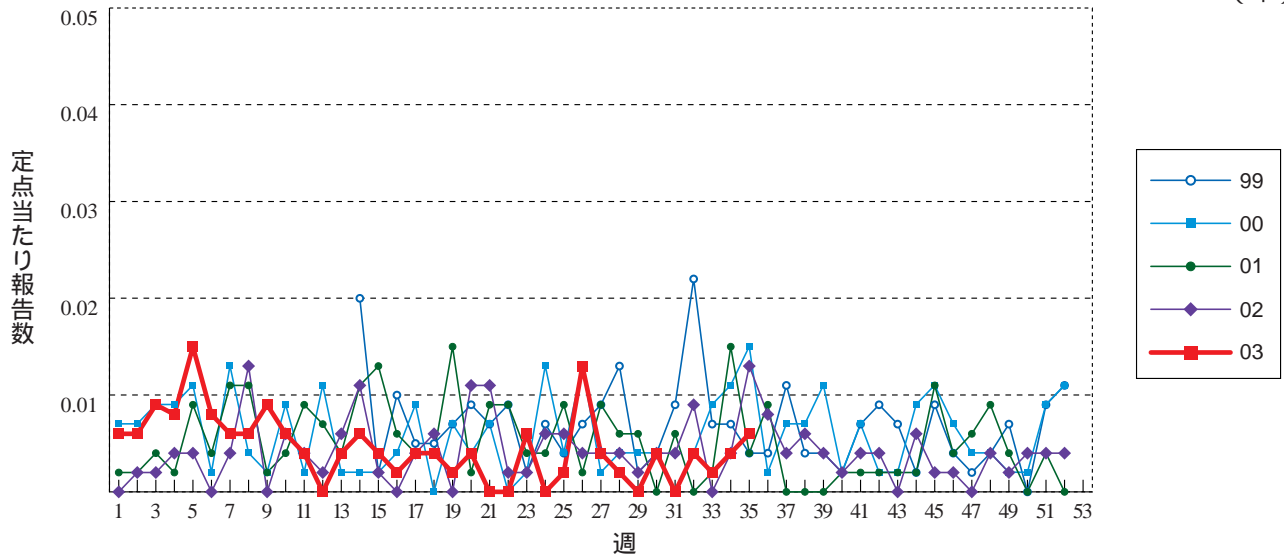


流行性角結膜炎



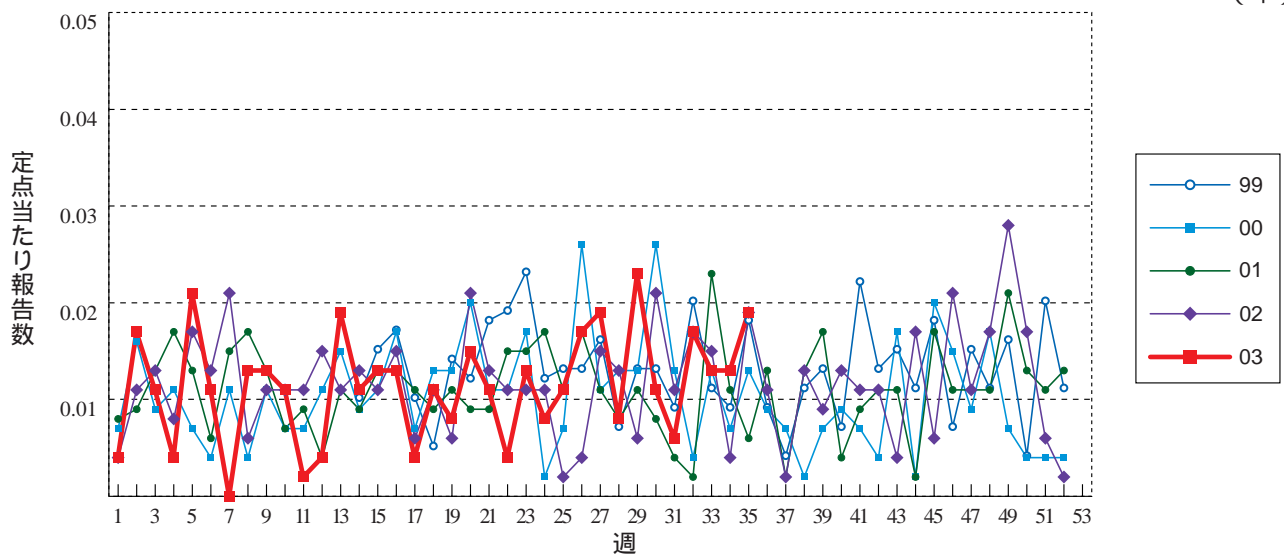
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



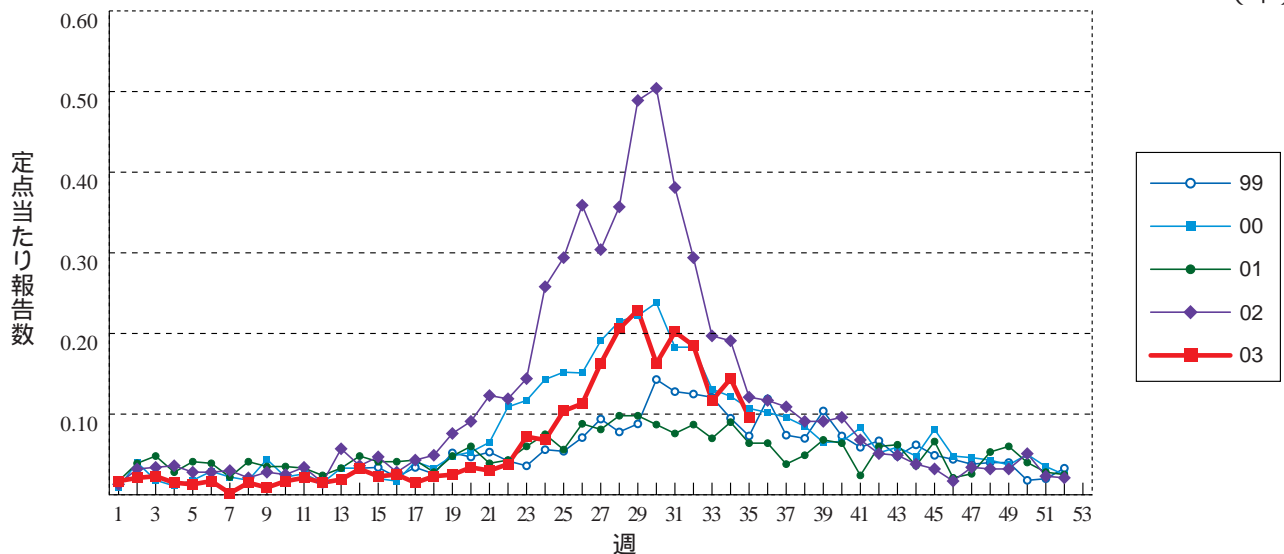
細菌性髄膜炎

(年)



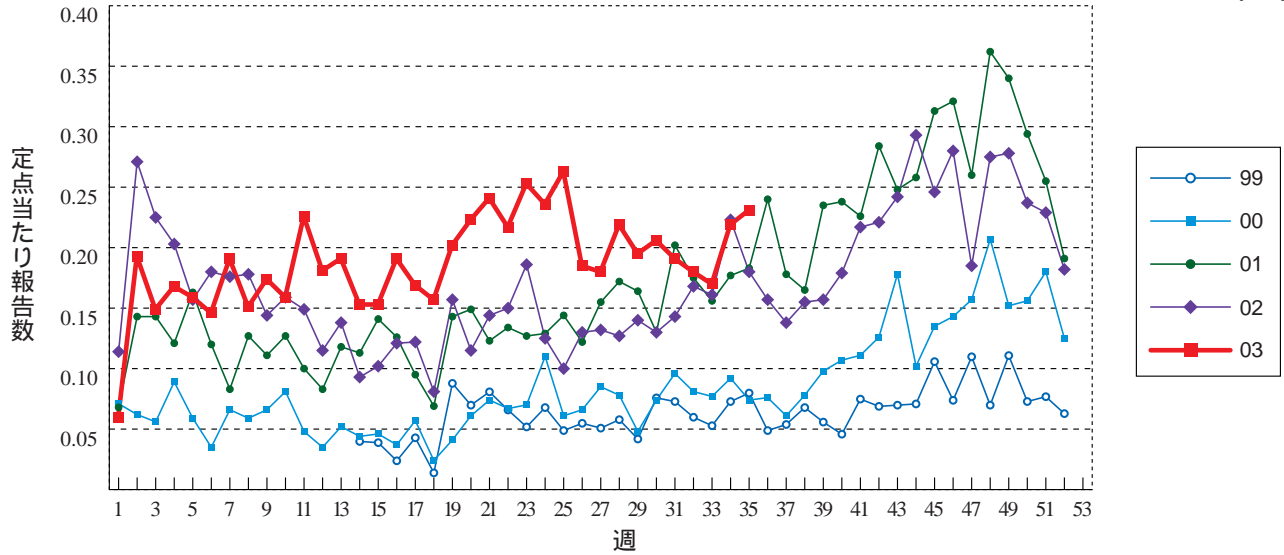
無菌性髄膜炎

(年)



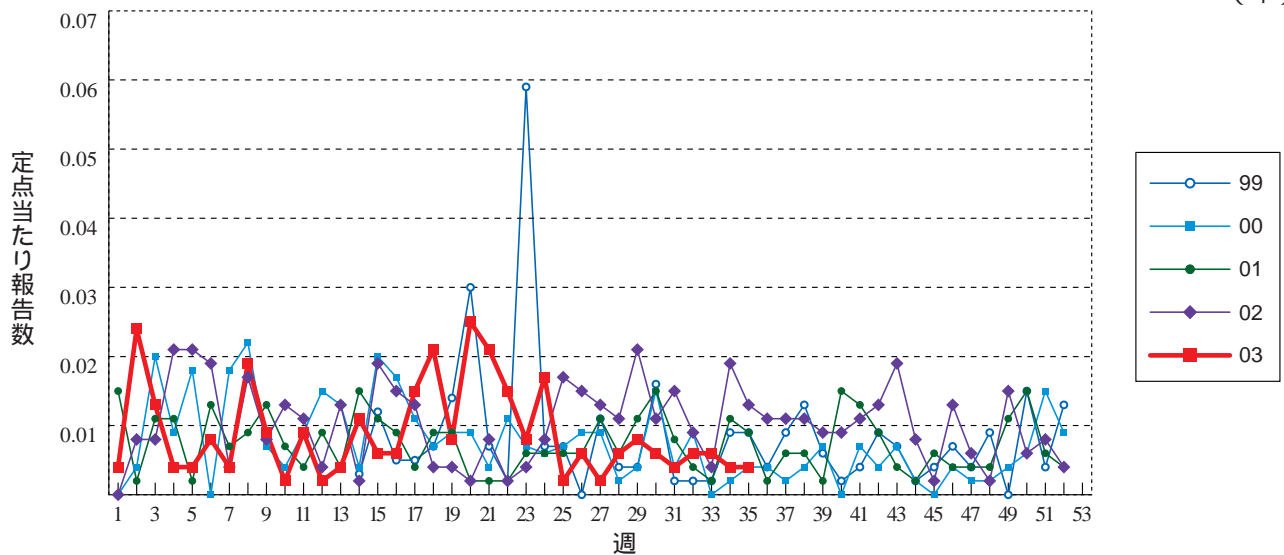
マイコプラズマ肺炎

(年)



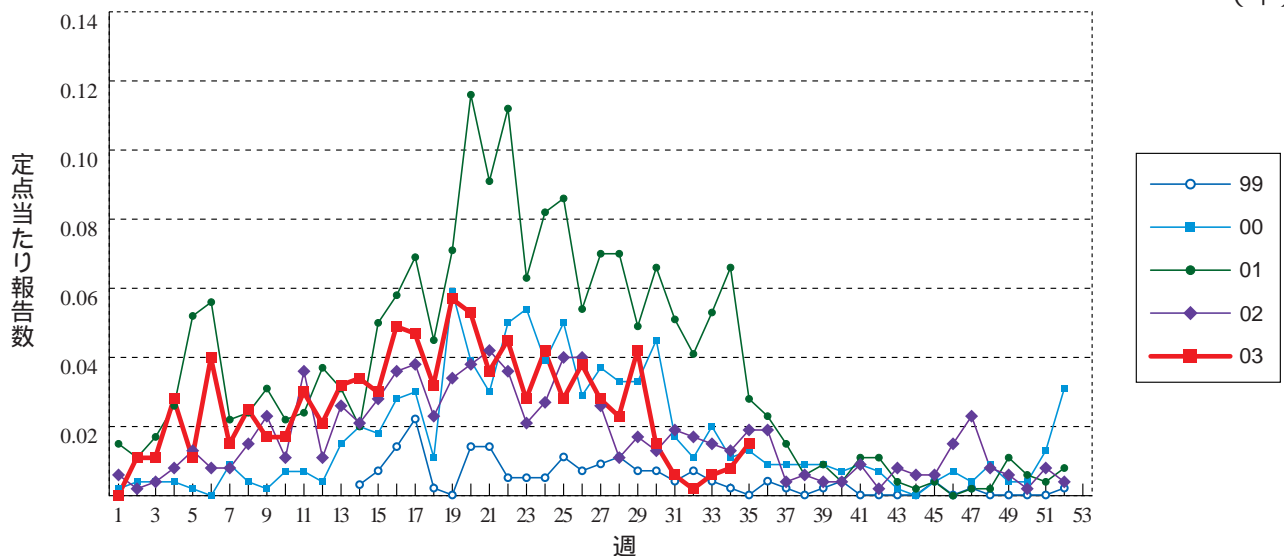
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 35週のデータ

注)表中の報告数は9月4日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	8	300	1	38	-	22	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	1	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	64	-	15	-	4	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	21	-	-	-	4	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	2	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	14	-	2	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	3	-	2	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	21	-	2	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年35週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	156	1660	8	333	-	13	-	-	-	34	-	-	3	510
北海道	-	-	-	-	1	27	-	5	-	12	-	-	-	1	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	2	39	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
宮城県	-	-	-	-	2	27	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
秋田県	-	-	-	-	4	41	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	1	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	2	14	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	2	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	22	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	4	46	-	16	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
千葉県	-	-	-	-	4	67	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	3	117	2	79	-	-	-	-	-	1	-	-	-	52
神奈川県	-	-	-	-	-	39	1	32	-	-	-	-	-	4	-	-	-	26
新潟県	-	-	-	-	-	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	25	80	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
福井県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	10	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	2	29	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
岐阜県	-	-	-	-	-	57	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	3	25	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	8	52	-	31	-	1	-	-	-	2	-	-	-	19
三重県	-	-	-	-	4	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	7	41	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	15	102	1	49	-	-	-	-	-	8	-	-	-	52
兵庫県	-	-	-	-	9	110	-	5	-	-	-	-	-	4	-	-	1	27
奈良県	-	-	-	-	2	9	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
和歌山県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岡山県	-	-	-	-	2	73	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	5	24	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	20
山口県	-	-	-	-	3	28	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
徳島県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	3	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
高知県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	31	175	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	51
佐賀県	-	-	-	-	1	30	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
長崎県	-	-	-	-	1	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	5	79	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮崎県	-	-	-	-	2	29	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
鹿児島県	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年35週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	5	-	75	1	42	8	573	-	1	-	67	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	6	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	18	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	13	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	25	-	-	-	1	-	-
東京都	-	1	-	-	-	4	-	11	-	4	5	224	-	-	-	25	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	47	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	34	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	1	11	-	-	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	52	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	13	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年35週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	15	-	1	-	-	-	135	-	21	5	29	-	-	-	-	3	318
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	49
神奈川県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	50
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	7
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	2	8	-	-	-	-	-	8
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成15年35週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	43	1	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52	-	4	1	91
北海道	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
群馬県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
千葉県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	10
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	4
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
広島県	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成15年35週

	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別

平成15年35週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	10	0.00	1194	0.39	1282	0.42	6337	2.08	1908	0.63	5644	1.85	608	0.20	2800	0.92	55	0.02
北海道	-	-	12	0.08	119	0.82	168	1.16	108	0.74	273	1.88	95	0.66	115	0.79	3	0.02
青森県	-	-	9	0.21	27	0.64	91	2.17	28	0.67	237	5.64	2	0.05	37	0.88	1	0.02
岩手県	-	-	6	0.16	14	0.37	60	1.58	47	1.24	171	4.50	6	0.16	26	0.68	-	-
宮城県	-	-	15	0.25	28	0.47	137	2.32	48	0.81	80	1.36	38	0.64	83	1.41	-	-
秋田県	-	-	4	0.11	5	0.14	49	1.40	22	0.63	121	3.46	-	-	25	0.71	-	-
山形県	-	-	6	0.20	28	0.93	59	1.97	26	0.87	54	1.80	1	0.03	29	0.97	-	-
福島県	-	-	5	0.10	15	0.31	133	2.77	22	0.46	184	3.83	1	0.02	44	0.92	-	-
茨城県	-	-	13	0.18	18	0.24	115	1.55	63	0.85	74	1.00	4	0.05	53	0.72	2	0.03
栃木県	-	-	5	0.11	13	0.28	68	1.48	23	0.50	100	2.17	2	0.04	39	0.85	1	0.02
群馬県	-	-	13	0.21	30	0.48	121	1.95	64	1.03	92	1.48	7	0.11	55	0.89	2	0.03
埼玉県	3	0.01	47	0.30	89	0.56	306	1.94	106	0.67	268	1.70	36	0.23	159	1.01	1	0.01
千葉県	-	-	20	0.15	54	0.41	201	1.53	77	0.59	273	2.08	27	0.21	136	1.04	1	0.01
東京都	-	-	26	0.18	28	0.20	222	1.56	54	0.38	178	1.25	23	0.16	105	0.74	-	-
神奈川県	-	-	60	0.29	69	0.33	330	1.60	98	0.48	306	1.49	66	0.32	192	0.93	3	0.01
新潟県	-	-	16	0.27	18	0.30	102	1.70	59	0.98	271	4.52	30	0.50	58	0.97	3	0.05
富山県	-	-	8	0.28	28	0.97	117	4.03	22	0.76	55	1.90	16	0.55	34	1.17	-	-
石川県	-	-	7	0.24	11	0.38	83	2.86	12	0.41	37	1.28	6	0.21	19	0.66	-	-
福井県	-	-	10	0.45	15	0.68	96	4.36	12	0.55	40	1.82	10	0.45	21	0.95	-	-
山梨県	1	0.02	2	0.08	2	0.08	21	0.84	15	0.60	54	2.16	5	0.20	8	0.32	-	-
長野県	-	-	80	1.45	23	0.42	148	2.69	55	1.00	234	4.25	11	0.20	56	1.02	3	0.05
岐阜県	-	-	31	0.58	16	0.30	66	1.25	18	0.34	66	1.25	15	0.28	31	0.58	3	0.06
静岡県	-	-	73	0.85	26	0.30	189	2.20	55	0.64	198	2.30	34	0.40	83	0.97	3	0.03
愛知県	-	-	37	0.20	82	0.45	331	1.82	138	0.76	212	1.16	52	0.29	172	0.95	3	0.02
三重県	-	-	38	0.84	24	0.53	168	3.73	24	0.53	23	0.51	11	0.24	54	1.20	-	-
滋賀県	-	-	48	1.50	7	0.22	26	0.81	22	0.69	31	0.97	5	0.16	31	0.97	-	-
京都府	-	-	24	0.32	13	0.17	220	2.89	29	0.38	66	0.87	2	0.03	52	0.68	1	0.01
大阪府	-	-	83	0.43	77	0.39	451	2.31	78	0.40	157	0.81	9	0.05	158	0.81	9	0.05
兵庫県	-	-	82	0.64	32	0.25	260	2.03	90	0.70	169	1.32	12	0.09	104	0.81	1	0.01
奈良県	-	-	31	0.89	15	0.43	71	2.03	13	0.37	25	0.71	6	0.17	24	0.69	-	-
和歌山県	-	-	8	0.26	3	0.10	73	2.35	15	0.48	26	0.84	1	0.03	28	0.90	2	0.06
鳥取県	-	-	16	0.84	23	1.21	61	3.21	16	0.84	79	4.16	7	0.37	19	1.00	1	0.05
島根県	-	-	2	0.09	6	0.26	49	2.13	14	0.61	47	2.04	2	0.09	23	1.00	-	-
岡山県	-	-	8	0.15	10	0.19	141	2.61	34	0.63	131	2.43	2	0.04	23	0.43	-	-
広島県	-	-	54	0.72	27	0.36	188	2.51	57	0.76	80	1.07	20	0.27	68	0.91	1	0.01
山口県	-	-	17	0.35	46	0.94	146	2.98	43	0.88	226	4.61	6	0.12	64	1.31	1	0.02
徳島県	-	-	9	0.39	5	0.22	66	2.87	4	0.17	20	0.87	1	0.04	19	0.83	1	0.04
香川県	-	-	21	0.66	4	0.13	48	1.50	17	0.53	28	0.88	-	-	23	0.72	-	-
愛媛県	-	-	21	0.54	16	0.41	129	3.31	34	0.87	161	4.13	1	0.03	54	1.38	-	-
高知県	-	-	38	1.23	17	0.55	39	1.26	17	0.55	51	1.65	6	0.19	24	0.77	-	-
福岡県	-	-	42	0.35	77	0.64	321	2.68	64	0.53	238	1.98	6	0.05	164	1.37	2	0.02
佐賀県	-	-	19	0.83	14	0.61	36	1.57	10	0.43	36	1.57	1	0.04	43	1.87	-	-
長崎県	-	-	10	0.23	14	0.32	74	1.68	23	0.52	83	1.89	-	-	24	0.55	1	0.02
熊本県	-	-	27	0.55	27	0.55	115	2.35	29	0.59	124	2.53	3	0.06	54	1.10	2	0.04
大分県	-	-	36	1.00	21	0.58	118	3.28	24	0.67	80	2.22	1	0.03	38	1.06	2	0.06
宮崎県	-	-	19	0.51	25	0.68	145	3.92	29	0.78	26	0.70	10	0.27	63	1.70	1	0.03
鹿児島県	6	0.06	35	0.59	17	0.29	165	2.80	32	0.54	135	2.29	1	0.02	47	0.80	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	4	0.12	14	0.41	18	0.53	24	0.71	8	0.24	19	0.56	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成15年35週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	24	0.01	4561	1.50	74	0.02	1185	0.39	25	0.04	747	1.17	3	0.01	9	0.02	45	0.10
北海道	-	-	429	2.96	3	0.02	52	0.36	4	0.14	26	0.90	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	164	3.90	3	0.07	18	0.43	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	73	1.92	-	-	14	0.37	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	108	1.83	3	0.05	35	0.59	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	86	2.46	3	0.09	2	0.06	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	61	2.03	-	-	8	0.27	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	105	2.19	6	0.13	20	0.42	-	-	36	3.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	36	0.49	3	0.04	9	0.12	-	-	31	1.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	74	1.61	2	0.04	11	0.24	1	0.08	20	1.67	-	-	1	0.14	2	0.29
群馬県	-	-	41	0.66	1	0.02	56	0.90	-	-	18	1.29	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	3	0.02	177	1.12	4	0.03	48	0.30	1	0.03	24	0.65	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.02	163	1.24	2	0.02	33	0.25	3	0.09	34	1.00	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	145	1.02	8	0.06	15	0.11	-	-	31	2.21	-	-	-	-	5	0.20
神奈川県	2	0.01	288	1.40	4	0.02	69	0.33	-	-	54	1.29	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	274	4.57	-	-	56	0.93	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	91	3.14	-	-	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	40	1.38	-	-	6	0.21	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3	0.60
福井県	-	-	40	1.82	1	0.05	1	0.05	-	-	4	1.33	-	-	1	0.17	2	0.33
山梨県	-	-	17	0.68	-	-	2	0.08	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	224	4.07	-	-	16	0.29	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	69	1.30	-	-	14	0.26	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	90	1.05	1	0.01	60	0.70	-	-	22	1.10	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	148	0.81	4	0.02	108	0.59	-	-	46	1.31	-	-	-	-	1	0.08
三重県	-	-	47	1.04	-	-	16	0.36	-	-	3	0.25	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	43	1.34	1	0.03	16	0.50	2	0.29	4	0.57	-	-	-	-	2	0.29
京都府	-	-	54	0.71	1	0.01	14	0.18	1	0.06	22	1.22	-	-	-	-	1	0.20
大阪府	1	0.01	92	0.47	5	0.03	51	0.26	2	0.04	35	0.71	-	-	-	-	3	0.20
兵庫県	2	0.02	131	1.02	1	0.01	114	0.89	-	-	37	1.06	-	-	-	-	3	0.25
奈良県	-	-	40	1.14	-	-	16	0.46	-	-	8	0.89	-	-	-	-	5	0.83
和歌山県	1	0.03	47	1.52	2	0.06	5	0.16	-	-	3	0.75	-	-	1	0.09	2	0.18
鳥取県	-	-	30	1.58	1	0.05	14	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	20	0.87	-	-	8	0.35	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	3	0.38
岡山県	-	-	79	1.46	7	0.13	17	0.31	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	88	1.17	2	0.03	27	0.36	3	0.15	30	1.50	1	0.05	-	-	3	0.14
山口県	-	-	54	1.10	-	-	52	1.06	-	-	11	1.22	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	42	1.83	-	-	4	0.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	46	1.44	-	-	7	0.22	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	167	4.28	1	0.03	3	0.08	-	-	36	5.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	35	1.13	-	-	38	1.23	-	-	3	1.00	1	0.13	-	-	2	0.25
福岡県	-	-	159	1.33	1	0.01	32	0.27	3	0.12	41	1.58	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	33	1.43	-	-	18	0.78	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	45	1.02	2	0.05	13	0.30	-	-	18	2.25	-	-	1	0.09	1	0.09
熊本県	-	-	79	1.61	2	0.04	7	0.14	2	0.22	25	2.78	-	-	3	0.20	2	0.13
大分県	3	0.08	70	1.94	-	-	13	0.36	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	164	4.43	-	-	20	0.54	-	-	11	2.75	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	44	0.75	-	-	23	0.39	-	-	8	1.33	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	-	-	9	0.26	-	-	3	0.09	-	-	11	1.10	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成15年35週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	109	0.23	2	0.00	7	0.01
北海道	2	0.09	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	10	0.50	-	-	-	-
宮城県	5	0.42	1	0.08	-	-
秋田県	2	0.29	-	-	-	-
山形県	7	0.70	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	7	0.70	-	-	-	-
栃木県	2	0.29	-	-	1	0.14
群馬県	4	0.40	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	0.08	-	-
東京都	4	0.16	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	1	0.08
新潟県	7	0.58	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	6	0.60	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.20	-	-	1	0.10
愛知県	5	0.38	-	-	-	-
三重県	3	0.33	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	16	1.07	-	-	-	-
兵庫県	3	0.25	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	5	0.24	-	-	-	-
山口県	3	0.33	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	4	0.50	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	0.09
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第5巻、第35号 平成15年9月12日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。